

が「医師の養成制度と医師供給体制」について質問。畑代議員は、①適正な医師数の基準、②出身大学のある都道府県での研修、③地域偏在、診療科偏在の解消に向けての女性医師の現状と対策の3点について質問した。

個人質問では、私から「地域医療支援病院」について質問。平成16年5月に紹介率を80%から40%に下げたことに伴い、大都市で多くの医療機関が地域医療支援病院の許可を受けている。札幌でも複数の医療機関が許可申請に向け検討しているとの情報があるが、もしも各区で地域医療支援病院が許可された場合、患者の囲い込み、そして医療費の増大にもつながる恐れがあることから紹介率を元に戻すように要望した。

また、松家代議員（札幌副会長）は「患者窓口負担の軽減」について質問。松家代議員は、可処分所得が減少していることや協会けんぽの保険料がアップされていること、さらに北海道診療報酬支払基金、北海道国保連合会の支払確定分について、20年度か

ら22年度までの外来受診者数の調査結果では、長引く不況による受診抑制が顕著に表れていることを踏まえ、早急に外来一部負担を2割に、後期高齢者と低所得者の自己負担限度額を2分の1にするよう、日医執行部のリーダーシップのもと、オールジャパンで取り組むよう要望した。

また、個人質問は16件の予定であったが、松家代議員の個人質問が終わったところで、終了予定時刻を大幅に超え、これ以上の時間延長は無理であるとする意見が大半を占めたことから、未回答の質問については後日文書で回答することになり17時30分、閉会となった。

今回の代議員会で感じたことは、代表質問、個人質問に対する執行部の答弁が丁寧に行われていたこともあり、終了時間を大幅に超えたことである。丁寧な答弁も大変大事なことであるが、代議員会の効率的な運営からも分かりやすく簡潔にと感じたのは私だけではないと思う。今後の代議員会の運営に期待し空路、千歳に向かった。

## お知らせ

### 北海道衛生検査所 精度管理事業について

道では、医療における衛生検査業務の役割の重要性から、「北海道衛生検査所精度管理専門委員会」を設置して、衛生検査所に対する外部精度管理調査（ブラインド調査<sup>\*</sup>）を実施しております。

この度、平成22年度の外部精度管理調査の結果について、報告書を取りまとめたところです。

この調査結果は、衛生検査所の精度管理の向上に役立てているほか、医療機関の皆様に対しましても、業務の参考としていただくため、本事業の概要および外部精度管理調査結果報告書を北海道庁のホームページ上で公開していることをお知らせいたします。

北海道保健福祉部医療政策局医療薬務課ホームページ

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/hf/iyk/iry/seidokanri.htm>

（検索サイトから「北海道衛生検査所精度管理事業について」でも検索することができます）

※ ブラインド調査とは、検体を医療機関から衛生検査所へ検査依頼する際に、その検体が精度管理調査であることを通知せずに行う調査のこと。

【連絡先】 北海道保健福祉部医療政策局医療薬務課  
〒060-8588  
札幌市中央区北3条西6丁目  
電話011-231-4111（代表）